

四万十市 高森山物語



山登りの鉄則

無事に家まで帰ること
山には100%の安全はない!



佐田流下橋

里山やスギ、ヒノキの人工林は
人が手を入れないと木が密集
するに連れて光も入らず
とどんどん荒れてしまう。
山は放っておくと鳥の声も
しない、暗い、沈黙の森になる。
県土の8割以上を占める豊かな
森林。
自然の恵みに感謝して、手入れ
し、豊かな森をつくりたい。
近くの山が元気になると
地域の再生にもつながる!!



東中筋学校の
校歌にも
歌われている
青空高く 高森の
高嶺を 仰ぎつ
知恵をみかき
体をねり
手をとり合ひ
あやまらん
東中筋 誉れあれ



山頂は
ヒノキ林

石鎚神社

明治21年
奉納



山頂
標高336.5m

大きな
手洗鉢

佐田流下橋方面

標識と
注意!

カガキ

入田方面

1400m

赤鉄橋、市街地、太平洋



思わぬ顔がほころび
しあわせの示し

のぼり来て
谷千本の若葉
風すすむに
眼をおきて憩へる
(太田水穂)



入田方面

自然界の営みの神秘や
不可思議さ。
山道を歩きながら
その時、その時の
花や鳥や樹との出会い。
そして自分と自然の
交信のようなもの。
お互いが主張せず
自然体で感じる愛しさ
なつかしさのようなもの。



SAYAKA-A

500m
標識

登山口

トノボ公園

赤鉄橋

サナエ橋

郵便局



肺の奥深くまで
森の空気と深呼吸
してみよう

登山口から1919m
約1時間の行程。

楠島
森沢方面



中筋平野

赤鉄橋

四万十川にかかる
4つの橋

中村市街

高森山 336.5m
土佐の小京都 四万十市中村の町に
あり 奥田、入田、楠島、佐田の4つの
地区にまたがっている。
シ、カシ、カワ、カ、カなどの樹林の
中を歩道が整備されている。
景観にもあわれ、四万十川や流下橋
赤鉄橋、市街地、太平洋を展望できる。
山頂には大きな石の祠、手洗鉢が歩道に
小さな祠が祀られ、古くから地区の
人々の信仰を集めていた山でもある。

カクレミ (隠れ蓐)
着ると姿をかくすことのできる
かくれみのに葉の形をたとえ。
古来より神聖視された樹林で
宮中の食器として使われていた
三角柏(みづがけ)との説がある。
樹皮からとれる樹液は
黄漆として塗料に用いる。

国道56号

